

デジタル田園都市国家構想 田原市総合戦略案（概要版）

【基本方針1】雇用の創出・就労促進 ～地域において安定した雇用に創出する～

戦略の重点

- ◆安定した雇用環境や機会の確保、新たな雇用創出につながる施策を推進する。
- ◆基幹産業である農業、製造業などの地域産業の振興を図り、稼ぐ地域をつくる。
- ◆地域における創業を総合的に支援するとともに、事業者の新規展開や事業拡大を促す。
- ◆農業・商業・観光業等において、デジタル技術やデータ活用等による効果的な情報発信を行い、新たな業態・連携・価値創造により生産性の向上や人材不足解消等を図る。

方向性(抜粋)

- 農業・漁業の担い手や高度な産業人材の育成、労働力の確保を進める。
- 進出企業との連携を進め、安定した雇用の創出を図るとともに、企業にとっても雇用確保の面において操業しやすい環境を整備する。
- 県やハローワークと連携し、育児と就労を両立しようとする方に必要な相談や説明の場を設けるなど、女性の雇用促進を図る。
- 全国トップクラスの農業産地の活性化を図るため、技術や設備の高度化、海外市場への積極的展開、6次産業化、農商工連携、ブランド化等を推進する。
- 臨海工業地帯等への積極的な企業誘致を図るとともに、サーキュラーエコノミー団地の形成など、脱炭素に資する企業集積の強化を図る。
- 農業の多様な担い手確保のための就農支援体制の整備や、先端技術やデータ活用によるスマート農業の普及を図る。

具体的施策

- 農業後継者・新規就農者の確保・育成と労働力の確保
- 全国トップクラスの農業産地のインパクトを生かした新たな農畜水産業の展開
- 企業立地の推進・三河港の振興
- 創業支援・人材育成
- 観光地域づくり
- 道の駅の魅力向上
- サンテバルク田原の新たな魅力づくり

【基本方針2】定住・移住促進 ～人口の流出を防止するとともに、移住を促進する～

戦略の重点

- ◆臨海企業従事者等について市内への定着・定住・移住促進を図る。
- ◆美しい自然や地域産業の魅力を発信するとともに、仕事や雇用の確保、住環境・教育環境などの充実を通じて地域とのつながりを築き、関係性を高めることで、本市へのUIターンを促進する。
- ◆ふるさとへの愛着と誇りの醸成を図り、若い世代が本市で暮らしたいという希望を実現するための施策を推進する。
- ◆テレワークやオンラインによる医療・教育など、デジタル技術を活用し、市内で働き・生活する上で必要なサービスが受けられる環境づくりを推進する。

方向性(抜粋)

- 本市への定住・移住促進を図るため、市内の事業所に勤める従業員等の居住先候補地となる市街地などの利便性向上や居住基盤の整備に努める。
- 地域の拠点となる市街地の活性化を図り、交通の利便性を高め、住み続けられるコミュニティを形成する。
- 海や山などの自然に恵まれ、サーフィンやサイクリングに適した環境のもとで暮らすことができる、この地域の魅力を発信し、首都圏をはじめ全国からのUIターンを促進する。
- ふるさと教育等の充実により子ども達のふるさとへの愛着と誇りの醸成を図り、若者の転出抑制・Uターンにつなげる。
- 市内への5G等、ICT基盤や公共施設等Wi-Fi環境を整備する。

具体的施策

- 若者・臨海企業従事者等の市内定着・定住・移住促進
- 空き家等活用推進
- サーファー等の移住促進
- ふるさと教育等の充実
- コミュニティ・スクールの取組推進

【基本方針3】若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望実現

～切れ目のない子育て支援で若者の希望をかなえる～

戦略の重点

- ◆基幹産業である農業や製造業などに従事する結婚を希望する方に対し、結婚支援を推進する。
- ◆妊娠～出産～育児～義務教育期間だけでなく、関係機関・地域が連携し、地域ぐるみで安心して子育てできる環境を整備する。
- ◆子育て世帯に安心して住み続けてもらえるよう、デジタル活用等により利便性の高い子育て環境を整備する。

方向性(抜粋)

- 結婚を希望する方をサポートするため、結婚相談や婚活イベント・セミナーなどを実施するほか、地元の団体等が企画する婚活イベントを支援する。
- 妊娠期から子育て時期におけるサポート体制の充実を図る。
- 若い世代が、妊娠、出産や心と体の健康意識を高められるよう、学校等と連携した健康教育を推進する。
- 女性の働きやすい環境整備や家庭と仕事の両立を後押しするための施策を推進する。
- 子どもたちの教育環境の充実を図る。
- 就学や子育てに関する悩みや不安などを解消するため、専門家による相談窓口を設置し、幼少期から壮年期まで切れ目のないサポート体制の充実を図る。
- 子どもを安心して産み、育てることができるように、デジタル活用等により子育て環境や支援サービスの充実を図る。

具体的施策

- 結婚・出産支援
- 子育て支援
- 医療体制の確保(産婦人科・小児科)
- ふるさと教育等の充実〔再掲〕
- コミュニティ・スクールの取組推進〔再掲〕

【基本方針4】地域の魅力・住み良さの向上 ～「安心して住める」「住んで楽しい」まちづくり～

戦略の重点

- ◆人が集い、活力あふれる魅力的な地域づくりを推進する。
- ◆ターゲット層を明確にした戦略的なシティセールスを推進する。
- ◆拠点となる市街地の活性化や幹線道路、公共交通などの都市基盤を確保・維持・改善し、周辺地域などの住み良さの向上を図る。
- ◆あらゆる分野においてデジタル活用による地域社会・経済の活性化や効率的で便利な暮らしやすい社会形成を推進する。

方向性(抜粋)

- 多世代交流や様々な活動を生み出し、賑わいを創出することによって、市街地の活性化を図る。
- 女性の人材育成や活動支援を通したまちづくりを進め、女性も参画した市民との協働事業を促進する。
- 渥美半島の豊富な観光資源の活用や、菜の花等の栽培を通した美しい農村景観の形成を推進することで新たな観光客を獲得するとともに、リポート率の向上を図る。
- 田原市サーフタウン構想の中心となる赤羽根地域を起点として、サーフィン等を通じた地域の魅力向上を図る。
- 本市の魅力や価値、ブランドを積極的に市内外へ発信し、知名度向上やイメージアップを図る。
- 地域医療体制の確保など、健康都市としての取組を推進するとともに、地域包括ケアシステムの充実を図る。
- 地域のニーズに応じた市コミュニティバスの運行など、公共交通の利便性向上を図る。
- 新型コロナウイルス感染症を契機としたデジタル化の加速を踏まえ、社会の様々な分野でのICTの積極的な利活用や行政のデジタル化等を推進する。

具体的施策

- 市街地の活性化
- 観光地域づくり〔再掲〕
- 広域連携による持続可能な地域づくり
- 戦略的なシティセールス
- 地域医療体制の確保(地域医療)
- 健康づくりに必要な環境の整備
- 地域包括ケアシステムの充実
- 公共交通ネットワーク確保・維持・改善
- 空き家等活用推進〔再掲〕
- 誰もが便利で快適なデジタル化の推進